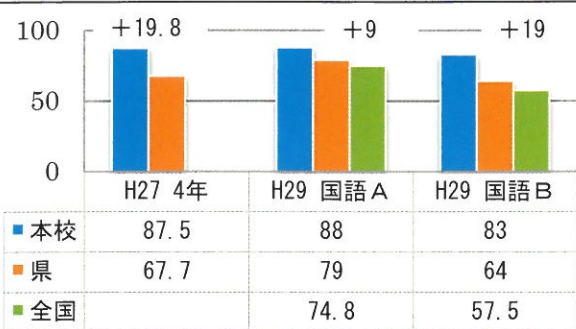
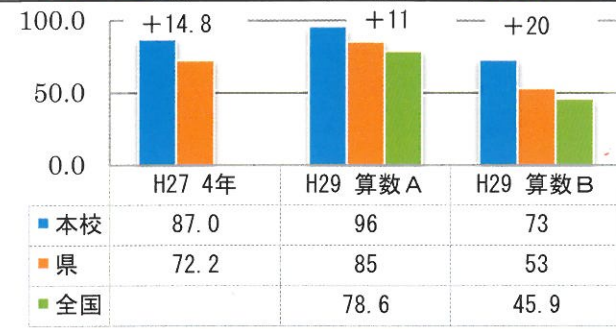


= 検証 = これまでの取組の成果 学力調査結果の変化（本校と県の差）

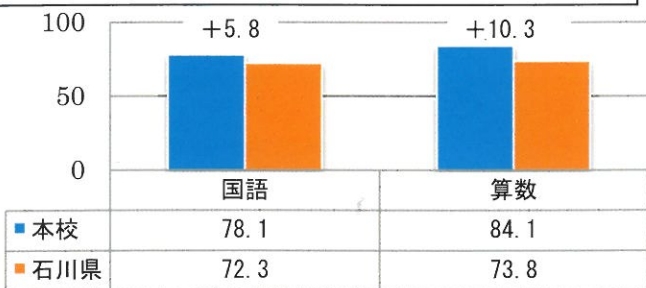
現6年生 学力調査の正答率の比較（国語）



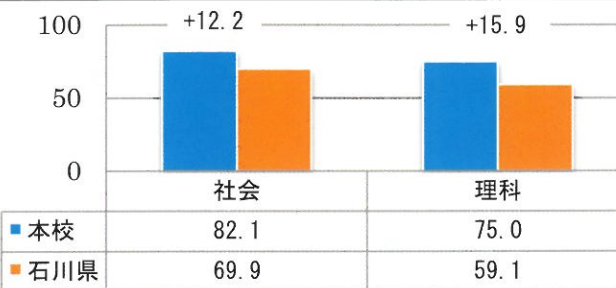
現6年生 学力調査の正答率の比較（算数）



平成 29 年度県学力調査正答率の比較（4 年）



平成 29 年度県学力調査正答率の比較（6 年）



全国質問紙調査より（6年生）

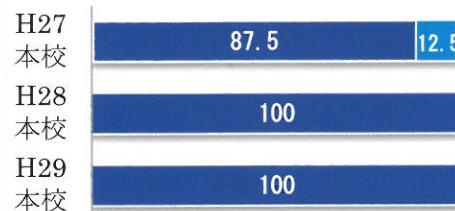
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。

言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか。

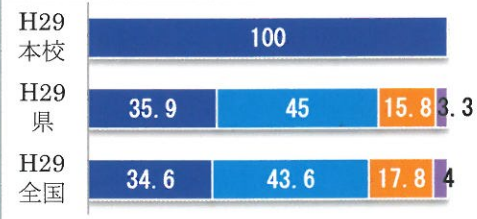
授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う。



■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる
■ どちらかという当てはまらない
■ 当てはまらない



■ 全ての問題で最後まで書こうと努力した。
■ 解答しなかった問題があった。
■ 全く解答しなかった。

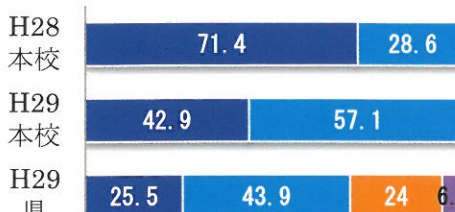


■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる
■ どちらかという当てはまらない
■ 当てはまらない

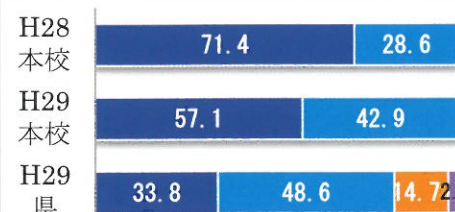
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う。

授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う。

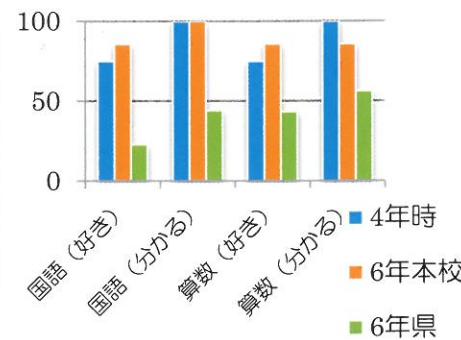
国語/算数の勉強は好きだ。
国語/算数の授業の内容はよく分かる。



■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる
■ どちらかという当てはまらない
■ 当てはまらない・無回答



■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる
■ どちらかという当てはまらない
■ 当てはまらない



研究で見えてきたこと・・・

- ・低学年から学び合いをすることで、出てきた意見の整理が低学年からできるようになってきた。
- ・「単元まるごと活用」の授業で、多面的・多角的に考える力を育むこと、難易度の高い問題に取り組むことが、児童の学習意欲を高めている。
- ・ペアやグループで学び合いながら学習を進めることで、課題に対し、自らの考えを話すだけでなく、他者の考えをしっかりと聞くことができるようになり、他者の考えを取り入れて考えを持てるようになった。
- ・ルーブリックの見取りから、ペア・グループ・全体での話し合いがアクティブになる1つの手立てになっていることが分かった。

平成 2 9 年度 石川県教育委員会・珠洲市教育委員会指定『能動的学習推進事業』



平成 2 9 年度 学校研究 リーフレット

珠洲市立飯田小学校
平成 29 年 10 月 5 日

《研究主題》

主体的に学び、
課題解決へとつなげることができる子の育成
～学び合いをもとに思考力・実践力を高める授業の工夫～

＜つきたい3つの学力＞
課題を見つける力
学び合う力
学び続ける力

いしかわ学びの指針 12 か条+より

第 2 条 自ら課題を発見し、主体的・協働的に課題を解決する力の育成

第 7 条 主体的な問題解決のための効果的な I C T 活用の促進

みんなでやると楽しいね。

なるほど！
わかったぞ！

うまくいったぞ！

次、これも調べたい。

珠洲市立飯田小学校 〒927-1214 石川県珠洲市飯田町 19 部 61 番地

Web ページ <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~iidaxe/NC2/htdocs/>

☎・Fax 0 7 6 8 (8 2) 0 0 4 4

思考ツール

- ・思考を助けたり、深めたりするための有効なツールの利用
- ・教育効果を上げるためのICT機器の利用

ツールの掲示

ICT機器活用



三角ロジック

- ・筋道を立てて説明するための手法

考え

三角形で伝えよう（三角ロジック）
記述する・発表する・交流する

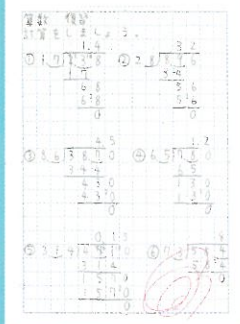
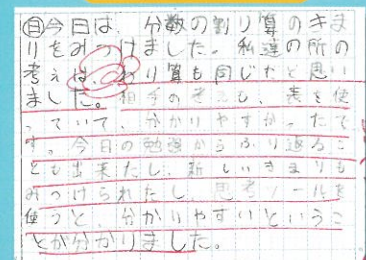
根拠

理由

家庭学習

算数日記

自学ノート



主体的な学校生活 自己有用感の向上

子どもたちの主体的な活躍の場
縦割り活動を生かした学び合い
自分たちで創り上げる学校生活
運動会 総合的学習発表会
卒業を祝う会等 様々な行事



スキルタイム

- ・表現力や言語感覚を高める
条件付き百文字作文
- ・基礎基本の力を身に付ける
教科補充学習

言葉のスケッチ



百マスチャンピオン

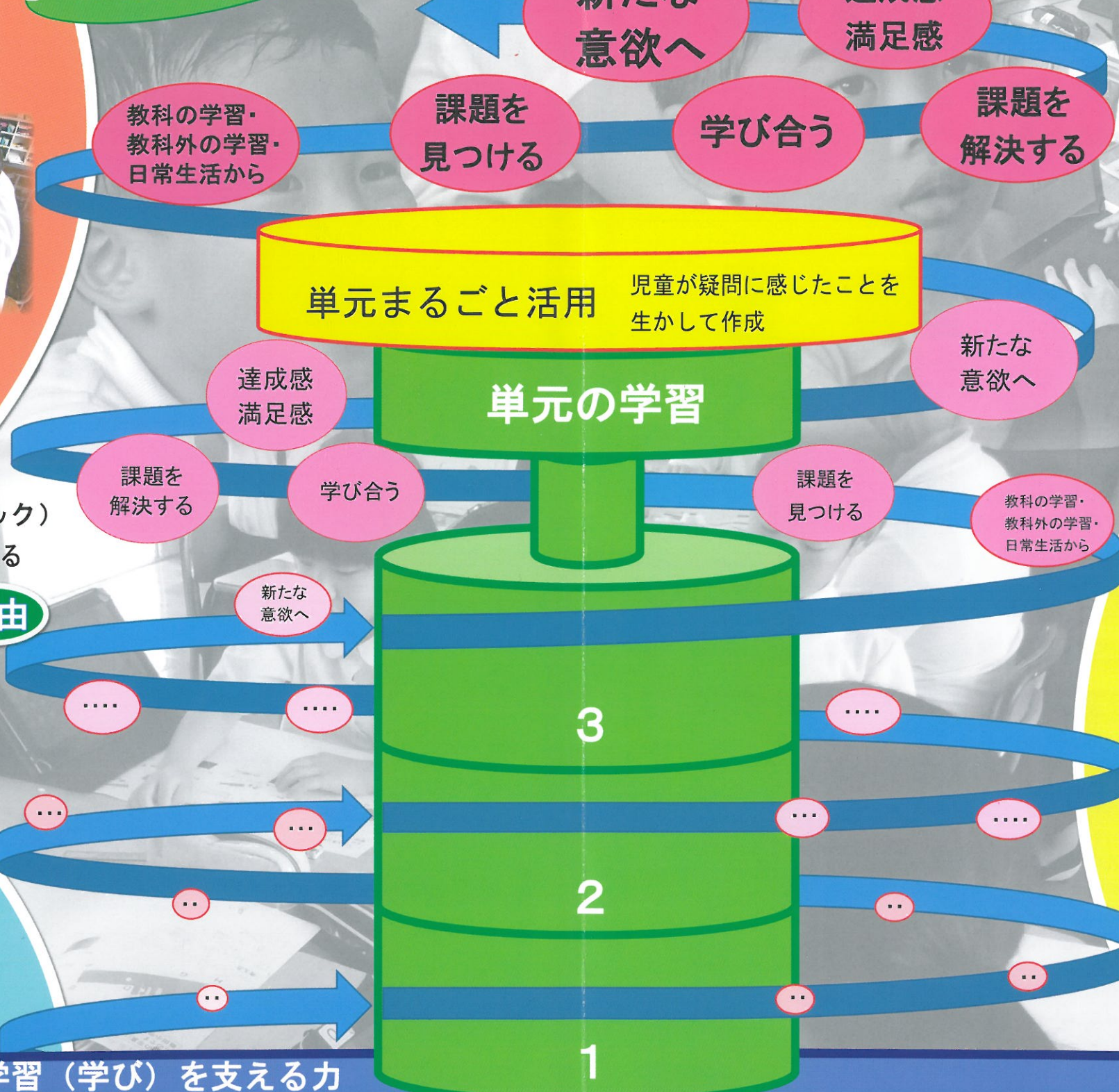


話す・聞く



主体的に学び 課題解決へとつなげることができる子の育成

学びのスタイル



活用の場

- ①学んだことを生活や他の題材で活用する場
- ②単元で指導したことの検証・評価の場
- ③教科をこえて多面的・多角的な見方を広げる場

評価

アクティブラーニング
自己評価シート



ルーブリック

評価項目	評価基準	評価結果
問題発見	問題を見出すことができる	○
問題解決	問題に対して適切な方法で解決できる	○
表現力	自分の考えを明確に表現できる	○
協働性	グループで協力して学習できる	○
自主性	自分の学習を自主的に進められる	○